

イノベーションと新規事業創造	履修年次	3・4	
	単位	2	
岩井 善弘	配当期	後	
	授業方法	講義/ オンデマンド	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>イノベーションという言葉は革新と訳される。まずイノベーションの定義やイノベーションの発生の機会を紹介し、イノベーションなぜ起きるのかを学ぶ。次に、マクロ面から、日本が置かれている環境や世界情勢から世の中で起きているパラダイムシフトを観察する。第3に企業経営の観点からイノベーションを考えてみる。特に2020年初に発生した新型コロナの影響で、企業経営において多くのことが変わってきている。その後、新規事業と商品企画のプロセスに入る。新規事業、さらには商品のアイデアを発想するための技法も併せて修得する。特にアイデアをどう創出するかについては十分な時間を割いて学ぶ。</p> <p>課題と授業外学習の指示・提出は manaba で行う。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・革新を実行するとはどういうことか、その方法や技法を、ビジネスパーソンに求められる基礎的な素養として身につけることができる。 ・社会で直面する様々な課題の発見、解決に資するものの見方・考え方を身につけることができる。 ・課題解決策の立案に要する発想力や論理力を修得できるようになる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、小テスト、課題提出により総合的に判断する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	イノベーションの定義・発生のプロセス	8	新事業創造のための考え方の枠組み
2	日本の置かれた現状とイノベーションの必要性	9	外部環境・内部環境の分析
3	スピードからみた企業のイノベーション経営	10	アイデア発想の仕方
4	ハード・ソフト資産の組合せによる企業経営	11	商品企画書の雛形の説明
5	価値創造と価値獲得のための事業・業務プロセス	12	商品コンセプトの設定・ターゲットの絞り方
6	クローズド経営、オープンイノベーション経営	13	価格設定・競合商品との差別化
7	新事業創造のための事業領域の検討	14	市場規模推計・投資採算、収益性の考え方